

## シリーズ

## “キラリ企業”の現場から 第8回

第8回目は、OA機器メーカーから依頼される小物樹脂製試作品の機械加工やモデル作成を行う「デジタル工房」、(株)巧電社を紹介させていただきます。同社は平成12年から城南支社において、ISO9001取得<sup>(注1)</sup>、外注企業の確保、人材確保などの相談をお受けした企業です。

## スピードをもって何事にも取り組む企業

株式会社巧電社

## 商社から製造のプロへ

(株)巧電社は、昭和47年に会長が樹脂(プラスチック)加工部品を取り扱う商社から独立して設立をしました。当初は設備を持たない商社でしたが、その後、汎用彫刻機一台で製造を始め、平成5年にはマシニングセンターを導入しています。また、三次元CADの取り組みも、CADデータの互換性にも早くから対応しています。規模の小さい企業ではなかなか導入できない三次元測定機、画像処理機なども導入し、検査設備も充実しています。

同社が取り扱っているのは精密な小物の試作品であり、生産数は一個か、数個が大半です。試作品は不況期でも新製品開発に取り組むメーカーにとって欠かせないものであること、同社の営業、品質、納期対応が評価されていることと相まって仕事の確保は順調に出来てきています。試作品ゆえに高い品質と短納期を要求されるため、営業と製造現場が一体となって、顧客から要求されるスピードに誠実に対応しています。

## 印象に残るISO9001への取り組み

同社は平成12年にISO9001を取得しています。従業員は現会長(当時は社長)も含めて6名の規模でしたが、会長を始め社員一同で懸命に取り組んでいたことが印象に残っています。当時としてはこれだけ規模が小さい企業のISO取得は珍しいことでした。

ISO9001の取得の目的は、多くの企業の場合は「取引先からの要請」や「対外的なアピール」ですが、同社は製品品質の向上、社員意識の改革といった社内の体質改善を目的に取り組んでいました。

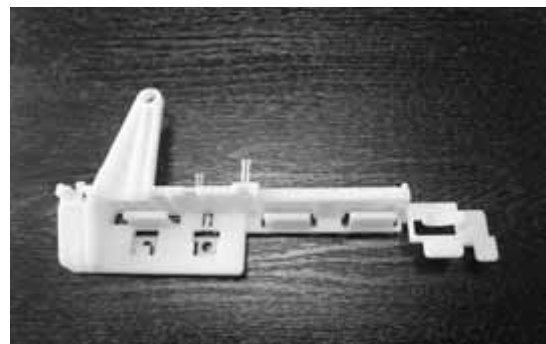
社長を含む全社員がISO9001の各事項を分担して、勉強し、コンサルタントなどの専門家の指導も受けずに独自に取得しました。その際に城南支社が相談で少しお手伝いをさせていただきましたが、特に会長は熱心で何度も電話をいただきました。会長も従業員と同じ目線で、自分の担当部分を懸命に勉強し対応していました。

ISO9001の取得とは直接関係ありませんが、企業訪問した際に、社長から一枚の表を見せて頂きましたが、それが同社五ヶ年の経営計画でした。そこには具体的な数値で売上計画、設備計画、人員計画、教育訓練計画が書かれていました。規模の小さい企業ではあまり見たことがないので大変驚きました。同時に、この会社は伸びるのではないかと直感しました。

## 隣地に新工場を建設

同社は、大田区内の準工業地域にあり、まわりはほとんど住宅に囲まれています。平成16年に工場の新築・拡張を行っていますが、それまでは狭い作業スペースにマシニングセンター4台、三次元測定機、画像処理機が設置してありました。

事業の拡大で手狭になったことで新たな作業面積の確保が必要になり、会長は取引先や従業員のことを



OA機器部品の試作品

考え、あまり遠くないところを探したそうですが、近くではなかなか適当なところが見つからなかったそうです。

しかし、偶然に隣地の土地建物が売りに出されることを知り、すぐに購入を決めました。そのまま工場としても使える建物でしたが、作業性を考えて、思い切って建物を建替えています。

隣の土地を購入する機会にはそう簡単に巡り会えるものではなく、全くの偶然の機会に恵まれたように見えますが、社長が経営計画にも織り込み、常に情報を発信していたことの結果だと考えられます。現在は作業面積も広くなり、会議室、従業員の休憩室等も確保されています。



新旧本社工場

## 外注企業の確保と生産能力の増強

同社は長い間、生産能力の不足が続いており、外注企業の確保のために、公社の受発注商談会<sup>(注2)</sup>には数多く参加しています。不況時に多くの会社で仕事が無くて困っていても、同社の品質、納期に対応できる外注企業はなかなか見つかりませんが、当初同社の要求に応えられなかった外注企業も徐々に応えられるようになり、現在は5、6社と取引があります。

一方で、自社の生産能力を増強するために、設備機械の導入と人材の確保を積極的に行っています。生産能力のアップには、設備の導入だけではだめで、人材の確保にも相当な力をいれ、インターネットの活用や専門校などへの積極的なアプローチを行うとともに、公社の経営・IT研修<sup>(注3)</sup>も利用して社員教育にも努めています。



最新生産設備

採用難の状況が続きましたが、努力の甲斐あって現在は12名となり、会長、社長の人柄もあって定着率はよい状況です。

## 新しい技術に取り組む

最近では、CADデータから直接モデル作成のできる最新設備を導入しています。それはアメリカの会社が開発した熱溶解積層法のABS樹脂積層造型機です。加工方法は、ABS樹脂材料を熱により熔解し、ヘッド部の高速制御でZテーブルの昇降により行い、大型モデルの精密な積層造形を実現します。切削加工ほどの寸法精度は期待できませんが、当社独自の手法により精度プラスマイナス0.05mm程度を可能としています。また、必要な材料を必要なだけ熔解してモデルを作成するために、材料を有効に利用でき、コストダウン、納期短縮ができるようになりました。

平成14年に就任した現社長は会長から全面的に信頼されており、何事にもスピードをもって積極的に取り組んできた会長の姿勢がそのまま受け継がれています。今後はこの社長によって更なる新技術の取り組み、生産能力の増強、より良い人材の確保がなされ、同社はますます発展していくでしょう。

(城南支社 大江章雄)

(注1) 公社ではISO取得支援事業、研修、マニュアルの作成も行っています。

(注2) 年2回、公社が大田区と共催で行っている受注・発注商談会のことです。

(注3) 公社では毎月、多様な経営・IT研修を開催しています。

企業名：株式会社巧電社

代表取締役：宮丸 勝也

資本金：1000万円

本社所在地：東京都大田区上池台3-44-8

T E L : 03-3727-5612

F A X : 03-3728-6217

U R L : <http://www.koden-sha.co.jp>